

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スマイルこのはな		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 5日		～ 令和 8年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な年齢層の児童が在籍。遊びや関わりの中でルールや役割、仲間意識、他者を思いやることなどを学べる環境があります。	児童の年齢幅はありますが、無理のない関わり方ができる環境、活動設定をおこなっています。また集団活動が難しい場合は無理強いせず個別で対応も行っていきます。	他児や大人(職員)との信頼関係を育み安心して過ごせる集団づくりに努めます。
2	送迎サービスの柔軟性	ご要望にお応えできるよう送迎スケジュールを組み、学校やご家庭の事情や急な変更にも可能な限り対応できるよう努めています。	送迎時の気づきや児童の様子を職員間で共有し、支援全体の質の向上につなげていきます。
3	職員同士の連携	常勤・非常勤に関わらず情報が行き届くようコミュニケーションを大切に共有や記録の工夫を行っています。	子どもたちだけではなく、職員も安心して過ごせる雰囲気大切にしながら、連携を強化し支援環境の充実を目指します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による直接的な支援	作業療法士、言語聴覚士など専門職による支援が望ましいと思われる児童も居るが現段階では事業所内での確保が出来ていません。	今後、専門職の確保に向け、非常勤や外部連携など多様な形での関りについて検討を進めます。あわせて、振り返りや支援方法の整理を行い専門職不在の中でも支援の質を高められるよう努めます。
2	個別ルームの確保	個別ルームが一部屋しかないため騒がしい声が苦手な児童や、体調不良などで横になりたい児童が重なった際にスピーディーに対応できないことがあります。	個別対応が重なりやすい時間帯や場面を想定・整理し、空間の使い方を見直すことで、スムーズな対応ができる環境・体制づくりを進めています。
3			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス スマイルこのはな		公表日		2026年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		個別活動や集団活動など状況に合わせてフロアを使い分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		室内・トイレ・玄関等バリアフリー化され、子どもたちが来所してからの動線の中に来所してから行う事や施設の中での過ごし方などをイラストで分かりやすく表示しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日掃除を行い、子どもたちが心地よく過ごせる環境を心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別活動、気持ちの切り替え時、1人で静かな場所で過ごしたい時、体調不良時など必要に応じて誰もが使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	業務改善のため業務手順やマニュアルの見直しを行ったり、職員会議等を通じ、課題や目標設定、振り返り、意見交換を行い複数の職員がPDCAサイクルに参画しています。	今後も課題の整理と改善を継続し、業務の効率化と支援の質の向上に努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員間で支援について工夫すべき点やそれぞれの意見や考え方を話し合い業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	関係機関の相談支援事業所、相談支援専門員から支援内容や運営について助言をうけ業務改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		施設内研修の実施、法人内の研修機会があり、外部研修にも参加しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		連絡帳、メール、電話、面談などで保護者や児童の要望を聞き、関係機関の情報をもとに職員間で課題や分析等をおこない作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	日々の支援における行動観察や聞き取りによるインフォーマルなアセスメントを行うとともに、関係機関によるフォーマルな評価結果を参考にしながら子どものニーズ把握や支援内容の検討をおこなっています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	活動内容やスケジュールなど職員間で確認を行い都度、コミュニケーションをとりながら連携して支援がおこなえるよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	振り返りや意見交換を行い、記録用紙なども活用しながら共有をおこなっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	情報共有を行い、支援体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			現在、該当児童はいませんが必要に応じて支援内容等の情報提供を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	毎月の部会に定期的に参加し、支援に関する情報共有や意見交換、研修参加、助言を受ける機会を設けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		現在、未就学児の利用がないため保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は行っていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	個別の相談対応を通じ、保護者に対し子どもの特性理解や関わり方に関する助言や対応をおこなっています。	家族等の参加できる研修などの情報提供ももっと進めていけるよう努めます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		現在、保護者同士の交流の場は設けていませんが、必要に応じ機会を設けるよう検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		イベントやお店を出すなど、地域に開かれた事業運営を図っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		各マニュアルの策定、周知をおこない定期的に訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		安全計画を作成し、計画に沿って訓練などをおこなっています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スマイルこのはな		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 5日		～ 令和8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 5日		～ 令和8年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な年齢層の児童が在籍。遊びや関わりの中でルールや役割、仲間意識、他者を思いやることなどを学べる環境があります。	児童の年齢幅はありますが、無理のない関わり方ができる環境、活動設定をおこなっています。また集団活動が難しい場合は無理強いせず個別で対応も行っています。	他児や大人(職員)との信頼関係を育み安心して過ごせる集団づくりに努めます。
2	送迎サービスの柔軟性	ご要望にお応えできるよう送迎スケジュールを組み、学校やご家庭の事情や急な変更にも可能な限り対応できるよう努めています。	送迎時の気づきや児童の様子を職員間で共有し、支援全体の質の向上につなげていきます。
3	職員同士の連携	常勤・非常勤に関わらず情報が行き届くようコミュニケーションを大切に共有や記録の工夫を行っています。	子どもたちだけではなく、職員も安心して過ごせる雰囲気大切にしながら、連携を強化し支援環境の充実を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による直接的な支援	作業療法士、言語聴覚士など専門職による支援が望ましいと思われる児童も居るが現段階では事業所内での確保が出来ていません。	今後、専門職の確保に向け、非常勤や外部連携など多様な形での関りについて検討を進めます。あわせて、振り返りや支援方法の整理を行い専門職不在の中でも支援の質を高められるよう努めます。
2	個別ルームの確保	個別ルームが一部屋しかないため騒がしい声が苦手な児童や、体調不良などで横になりたい児童が重なった際にスピーディーに対応できないことがあります。	個別対応が重なりやすい時間帯や場面を想定・整理し、空間の使い方を見直すことで、スムーズな対応ができる環境・体制づくりを進めていきます。
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス スマイルこのはな

公表日 2026年 3月 4日

利用児童数 23

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○14					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	○11			3		適切な人員配置で運営しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○13			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○13	1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○13	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○13			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○14					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○13	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○12	1		1	いつも子供が喜びそうな活動や遊びを考 えてやっているのですが、うちでは難 しいこともあるのでありがたいです。	今後も個別、集団に関わらず子どもたち が楽しんで参加できる活動や遊びを提案 していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2		○7		積極的な交流にはいたっていませんが、 今後検討を進めていきます。
保護 者へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	2	○6	こんな声掛けをしてみてください、こん な質問の仕方してみてくださいと教え てもらったりして助かってます。	今後、研修会などの情報提供もあわせて おこなっていきたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	○14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○14					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○14					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			3	2	○9	仕事もあつたりで保護者会などは特に希 望しません。	保護者会などのご要望が今のところ少な い状況です。ご希望される意見が集まれ ば開催したいと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○12	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○9	1		4	毎月のスマイル新聞を子供と見て、話をしたり行事予定の確認をしています。家でのコミュニケーションの一つにもなっています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○10	1	1	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○9	1		4		定期的に避難訓練を行い、連絡帳や新聞でお伝えさせていただいています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○12			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○14					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○14					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○12	1		1	とても楽しみにしています。 家の予定があっても今日はスマイルは？と言われます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	○13	1			できるできないに関わらずこちらの要望を出来る限り聞こう、対応しようとしてくれます。	支援の質を高めていけるよう努めます。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス スマイルこのはな					公表日	2026年 3月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		個別活動や集団活動など状況に合わせてフロアを使い分けています。	個別に使える部屋が狭いため、1人が使用していると他に必要な児童が使えない時がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			配置数は適切ですが、もう少しゆとりをもてるよう人員確保をしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		事業所内はバリアフリー化され、子どもたちが来所してからの動線の中に来所してから行う事や施設の中での過ごし方などをイラストで分かりやすく表示しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日掃除を行い、子どもたちが心地よく過ごせる環境を心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別活動、気持ちの切り替え時、1人で静かな場所で過ごしたい時、体調不良時など必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	業務改善のため業務手順やマニュアルの見直しを行ったり、職員会議等を通じ、課題や目標設定、振り返り、意見交換を行い複数の職員がPDCAサイクルに参画しています。	今後も課題の整理と改善を継続し、業務の効率化と支援の質の向上に努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	職員間で支援について工夫すべき点やそれぞれの意見や考え方を話し合い業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	関係機関の相談支援事業所、相談支援専門員から支援内容や運営について助言をうけ業務改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	施設内研修の実施、法人内の研修機会があり、外部研修にも参加しています。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		連絡帳、メール、電話、面談などで保護者や児童の要望を聞き、関係機関の情報をもとに職員間で課題や分析等をおこない作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	日々の支援における行動観察や聞き取りによるインフォーマルなアセスメントを行うとともに、関係機関によるフォーマルな評価結果を参考にしながら子どものニーズ把握や支援内容の検討をおこなっています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	活動内容やスケジュールなど職員間で確認を行い部度、コミュニケーションをとりながら連携して支援がおこなえるよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	振り返りや意見交換を行い、記録用紙なども活用しながら共有をおこなっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己選択できるような問いかけを心がけ、個人の考えを聞き出せるような環境づくりに努めています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	情報共有を行い、支援体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2		連絡調整が不十分であることも時々あるため、学校と職員による連絡・情報共有をより密に行うよう努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		現在、該当児童はいませんが必要に応じて支援内容等の情報提供を行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	毎月の部会に定期的に参加し、支援に関する情報共有や意見交換、研修参加、助言を受ける機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	個別の相談対応を通じ、保護者に対し子どもの特性理解や関わり方に関する助言や対応をおこなっています。	家族等の参加できる研修などの情報提供ももっと進めていけるよう努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	1	5		現在、保護者同士の交流の場は設けていませんが、必要に応じ機会を設けるよう検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		イベントやお店を出すなど、地域に開かれた事業運営を図っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		各マニュアルの策定、周知をおこない定期的に訓練を実施しています。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		安全計画を作成し、計画に沿って訓練などをおこなっています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			